

医療機関届出対象感染症一覧(1/2)

届出の基準は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」
(平成23年2月1日付)

診断後直ちに届出

全数発生報告

一類



感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症(原則、入院)

- | | |
|-----------------|-------------|
| (1) エボラ出血熱 | (5) ペスト |
| (2) クリミア・コンゴ出血熱 | (6) マールブルグ病 |
| (3) 痘そう(天然痘) | (7) ラッサ熱 |
| (4) 南米出血熱 | |

二類



感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症(状況に応じて入院)

- | | |
|-----------------|--|
| (8) 急性灰白髄炎(ポリオ) | (11) 重症急性呼吸器症候群 (病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る) |
| (9) 結核 | (12) 鳥インフルエンザ(H5N1) |
| (10) ジフテリア | |

三類



感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起し得る感染症

- | | |
|------------------|------------|
| (13) コレラ | (16) 腸チフス |
| (14) 細菌性赤痢 | (17) パラチフス |
| (15) 腸管出血性大腸菌感染症 | |

四類



人から人への感染はほとんどないが、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となる感染症

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| (18) E型肝炎 | (39) 鳥インフルエンザ(H5N1を除く) |
| (19) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む) | (40) ニパウイルス感染症 |
| (20) A型肝炎 | (41) 日本紅斑熱 |
| (21) エキノコックス症 | (42) 日本脳炎 |
| (22) 黄熱 | (43) ハンタウイルス肺症候群 |
| (23) オウム病 | (44) Bウイルス病 |
| (24) オムスク出血熱 | (45) 鼻疽 |
| (25) 回帰熱 | (46) ブルセラ症 |
| (26) キャサナル森林病 | (47) ベネズエラウマ脳炎 |
| (27) Q熱 | (48) ヘンドラウイルス感染症 |
| (28) 狂犬病 | (49) 発しんチフス |
| (29) コクシジオイデス症 | (50) ボツリヌス症 |
| (30) サル痘 | (51) マラリア |
| (31) 腎症候性出血熱 | (52) 野兔病 |
| (32) 西部ウマ脳炎 | (53) ライム病 |
| (33) ダニ媒介脳炎 | (54) リッサウイルス感染症 |
| (34) 炭疽 | (55) リフトバレー熱 |
| (35) チクングニア熱 | (56) 類鼻疽 |
| (36) つつが虫病 | (57) レジオネラ症 |
| (37) デング熱 | (58) レプトスピラ症 |
| (38) 東部ウマ脳炎 | (59) ロッキー山紅斑熱 |

五類 全数把握対象



感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| (60) アメーバ赤痢 | (68) 髄膜炎菌性髄膜炎 |
| (61) ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く) | (69) 先天性風しん症候群 |
| (62) 急性脳炎 | (70) 梅毒 |
| (63) クリプトスポリジウム症 | (71) 破傷風 |
| (64) クロイツフェルト・ヤコブ病 | (72) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 |
| (65) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | (73) バンコマイシン耐性腸球菌感染症 |
| (66) 後天性免疫不全症候群 | (74) 風しん |
| (67) ジアルジア症 | (75) 麻しん |

七日以内に届出

届出対象者

患者

保菌者

疑似者

届出は管轄保健所へ

医療機関届出対象感染症一覧(2/2)

届出の基準は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」
(平成23年2月1日付)

週報・月報報告

五類 定点把握対象

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| (76) RSウイルス感染症 | (89) 流行性角結膜炎 |
| (77) 咽頭結膜熱 | (90) 性器クラミジア感染症 |
| (78) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | (91) 性器ヘルペスウイルス感染症 |
| (79) 感染性胃腸炎 | (92) 尖圭コンジローマ |
| (80) 水痘 | (93) 淋菌感染症 |
| (81) 手足口病 | (94) クラミジア肺炎(オウム病を除く) |
| (82) 伝染性紅斑 | (95) 細菌性髄膜炎 |
| (83) 突発性発しん | (96) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 |
| (84) 百日咳 | (97) マイコプラズマ肺炎 |
| (85) ヘルパンギーナ | (98) 無菌性髄膜炎 |
| (86) 流行性耳下腺炎 | (99) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 |
| (87) インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く) | (100) 薬剤耐性アシネトバクター感染症 |
| (88) 急性出血性結膜炎 | (101) 薬剤耐性緑膿菌感染症 |

定点発生報告

新型インフルエンザ等

新たに人から人に伝染する能力を持ったウイルスを病原体とするインフルエンザで、全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの及び再興型インフルエンザ

- | | |
|-----------------|------------------|
| (102) 新型インフルエンザ | (103) 再興型インフルエンザ |
|-----------------|------------------|

診断後直ちに届出

全数発生報告

法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

- (104) 摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状(明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。)
- (105) 発熱及び発疹又は水疱(ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。)

感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と動物

- | | |
|---|------------------------------|
| (1) エボラ出血熱(サル) | (5) 細菌性赤痢(サル) |
| (2) 重症急性呼吸器症候群 (病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る(イタチアナグマ、タヌキ及びハクビシン)) | (6) ウエストナイル熱(鳥類に属する動物) |
| (3) ペスト(プレリードッグ) | (7) エキノコックス症(犬) |
| (4) マールブルグ病(サル) | (8) 結核(サル) |
| | (9) 鳥インフルエンザ(H5N1)(鳥類に属する動物) |

届出対象者



患者



保菌者



疑似者

届出は管轄保健所へ